

市政懇談会質疑要旨

◎吉田会場

質問・要望・意見	市からの回答
<p>市街地には程遠いこの地域なので、市になったとってそれが即変わっていくことは無いと思う。先祖伝来の土地を守っていくことを、若者も全力を挙げて頑張っているの、周辺部も見捨てず、支援してほしい。(男性V)</p>	<p>合併協議のときから常に周辺部が寂れないようにするためにいろいろと協議してきている。平成の合併の特徴のひとつに情報網の発達がある。雲南市のどこの地域でどんなことが起こっているか瞬時にしてわかるので、これを使って情報を共有し、一体感を持てるようにすることが非常に大切ではないかと思っている。周辺部で一番懸念されるのは農地の荒廃であり、それを如何に食い止め、ふるさと産業の創出に活用し、役立てるかということのを担い手対策もあわせて考えながら対応していかなければならないと思っている。(市長)</p>
<p>吉田町はオンリーワン事業で文化遺産の保存と街並み整備を中心に地域振興を図っていかうとしている。昨年、国から地域再生事業と年再生事業の認定を受け、町地区の石畳整備や電柱の地中化と下水道整備をあわせて実施して行くように計画している。財政状況が厳しい中、この事業が今後どう展開していくのか不安を抱いている。(男性W)</p>	<p>これから議会で十分に話し合いを進めて行かなければならないが、これまで進められてきた事業については、全く無くしてしまうことはできないと思っているので、できるだけ計画した年度に終わるようにしていかなければと思っている。しかし、厳しい状況の中、どの事業についても見直しを図りつつ、皆さんの理解を頂きながら進めていきたい。(市長)</p>
<p>行政の情報を入手するのに一番の早道は何か。(男性X)</p>	<p>差当り議会傍聴が一番ではないか。議会は年4回なので、その合間には市報、議会広報、記者発表、ホームページ等を見て頂くと良いと思う。そして、積極的に市役所に来て聞いて頂ければ包み隠さず情報公開したい。また、「まちづくり基本条例」を定めて、市民の皆さんが市政に参画する機会を設けていくので、そこでは市全体やそれ以外の行政情報も入手できることにもなると思う。(市長)</p>
<p>かなりの予算削減があるが、一番影響を受けるものは何か。吉田村で影響を受けるものは、また、旧町村と比べ17年度の経常収支比率はどうか。(男性X)</p>	<p>一番影響が大きいのは、普通建設事業であると思っている。三位一体改革前は10年間で500億円と考えていたが、370億程度に減らさなければならなくなった。吉田町では特にこれということではなく、どの町でも相対的に減らさざるを得ない状況である。経常収支比率は今まで85%くらいだったが、おそらくかなり上昇すると思う。(市長)</p>
<p>若い人が帰ってくるためには、働く場所が無ければならない。通勤範囲内に工場誘致等の考えはないか。(男性X)</p>	<p>ふるさと産業の創出を図りつつ雇用の場を確保していくことが必要ではないかと思っている。一挙にどんどん良くなるというものがあれば一番良いが、知恵と工夫を凝らし雇用の場の確保にも努めたい。既存の企業が更に頑張れるよう、商工会とよく情報交換しながら、事業が成り立っていくような支援対策を心掛けたい。(市長) 畜産振興を図るため、上山地区に繁殖牛施設を計画しているので、ご理解ご協力願いたい。(産業振興部長)</p>
<p>吉田町では高齢者がこの地区の産業(農林業)の生産や集落の維持を担いながら子育てや高齢者同士の友愛活動等に努めている。老人クラブの活動に対する支援を引き続きお願いしたい。(男性Y)</p>	<p>老人福祉計画を早期に策定し、高齢者の社会参加や就労促進、あるいは交流の機会や活動の場の確保、情報提供の推進を図っていきたく考えている。また、旧町村のシルバー人材センターを統合、法人化し、高齢者の社会参加を促進するという計画が進められている。老人クラブについても統合して組織化を図り、単位クラブの活動補助についても市の単独事業として補助し、生きがいと健康づくり活動のサポートをしていきたい。(健康福祉部長)</p>

質問・要望・意見	市からの回答
<p>財政状況が厳しい中、自治会や各種団体に対する補助金交付金の取扱いを伺いたい。削減するにしてもできるだけその幅を小さくして頂きたい。(男性Z)</p>	<p>自治会活動費等の補助金については、活動が低下しないようにという考えを前提に引き続き交付していかねばならないと思っているので、できるだけ削減幅を少なくしようと思っている。また、交付金等についても団体の運営に減退感が出てくることのないようにしなければならないというスタンスで取組みたい。(市長)</p>
<p>合併して総合センターの職員が3分の1くらいになり、しかも各地域の防災状況を熟知している職員が本庁勤務になっており、万一の際にどんな対処ができるかということが非常に不安な状況である。地域防災計画を早急に策定してほしい。(男性Z)</p>	<p>地域防災計画は住民の生命、財産を守る上からも早急な策定が必要で、17年度に着手することになっている。また計画ができるまでの間の対応として、合併協議会の段階で対応マニュアルを作っている。防災計画の策定は総合センターと一緒に早急に行いたい。(政策企画部長)</p>
<p>地域委員会の重要性について、まだ、住民にはあまり知られていない。地域委員会の力量によって、地域の格差がずいぶんできるのではないかと思う。CATV等を使って積極的に周知・PRしてほしい。(男性Z)</p>	<p>4月1日各総合センター単位に地域委員会を設置するため、今、委員の公募をいっている。雲南市では18年度から総合振興計画を策定することになっているが、地域委員会の役割は、この地域計画を検討して頂くということもある。また、17年度から地域振興基金を活用して地域委員会や地域自主組織に支援をしていこうと考えている。この基金は地域づくりの実践に対する支援や地域委員会に出された地域活動の計画に規定されたものに対する支援に活用していくことを考えている。具体的な支援の方法や進め方は、今後総合センター等と調整を取りながら周知を図って進めて行きたい。(政策企画部長)</p>
<p>普通建設事業費の削減は情勢として仕方のないことと思うが、そのために働き口も減る。また、職員の削減も地域の雇用から見れば大きなマイナス要因である。その代わりに産業の創出があると思うが、現状の数値的な状況はどうか。数値目標を持って産業創造を進めてほしい。(男性a)</p>	<p>公共事業の減と市役所職員の削減で雇用状況は非常に厳しい状況になっていくのではないかと考えている。反面、既存企業では、あわせて70名程度の雇用増が図られている。建設業は非常に厳しい状況であるが、その他の既存企業に少し元気が出てきているので、今後新たな雇用が生まれてくるのではないかと期待している。(産業振興部長)</p>
<p>畜産といえどどうしても公害が気になる。反対ということではないが、問題点は問題点として認識し、その問題をどう解決していくか考えながら進めて行ってほしい。(男性a)</p>	<p>畜産といえば大体公害が出るというイメージがあると思う。特に、臭いと汚水の問題は切っても切れない問題であると思っている。上山地区の施設については、放牧中心で1頭あたりの面積も環境が汚染されないレベル(1頭あたり1ha)を目安に考えているので、大きな影響はないものと考えている。(産業振興部長)</p>